

令和4年度 社会福祉法人陸別町社会福祉協議会事業計画

〔運営方針〕

新型コロナウイルスの世界的パンデミックは、発生から3年を経過した現在でも収まる状況にありません。日本では、第6波が未曾有の感染拡大となり、道内及び町内においてもその影響は計り知れないものとなっています。また、今後第6波の後もコロナ禍が終息するとは限りません。

しかしながら、社会福祉協議会は日々地域福祉の向上を目指すという使命を担っており、職員ひとり一人がエッセンシャルワークといった住民の方々の生命に直結する業務に携わっております。いまこそ、知恵と工夫を出し合い安全に事業を途切れなく継続していくことが求められております。

また、少子高齢化が一層進んでいる中において、ますます福祉サービスのニーズが多様化しており、それらの要望に答えていかなければなりません。

前年度に引き続き周りの感染状況に対応した感染予防対策の徹底とインターネット環境を活用したりリモート会議や在宅勤務なども想定したうえで、利用者への安全対策のみならず職員の安全にも配慮しつつ事業を進めてまいります。ただし、各種事業の形態や参加人数の規模によって中止せざるを得ない状況となることも想定されますが、その場合には電話によって安否確認をはじめ悩みごとや困りごとなどの確認や相談の対応を行ってまいります。

〔事業方針〕

1 法人運営事業サービス区分

新年度より町助成金の拡充により、当面の財政危機は脱せたものの依然として厳しい状況には変わりありません。新たな収入源を模索するとともに、支出の優先順位を常に意識して財政規律を守ってまいります。

一般移送サービスの利用増に対応するため、現有車輛を1台更新することとして、車椅子専用のリフト付き車輛を1台購入いたします。

また、社協業務を継続するために職員の感染症対策に万全を期してまいります。

2 地域福祉活動事業サービス区分

移送サービス事業について、一般移送サービスにおいてその急激な利用増に伴いこれまでボランティアで行っていた運転業務を臨時職員による業務と

して運行することといたしました。また、長年据え置いております利用料金の見直しについて、皆様のご意見を踏まえつつ検討を進めてまいります。

地域子育て支援拠点事業は、令和3年度からスタートした事業ですが利用者も順調に増えており、一層の定着を目指し内容の充実を図ってまいります。また、新たに一時保育の取組みとしてスモールスタートという形で、一定の条件設定をした上で行ってまいります。

りくべつ鉄道まつり事業協力について、社協で持っていた予算は事業内容を鑑みて老人クラブ連合会と就労センターにお願いすることといたします。

3 共同募金配分金事業サービス区分

ふれあいパークゴルフ大会は、地域住民が外で活動をするきっかけにつなげることで、交流を深める場の提供という目的で新たに実施いたします。

令和3年度からふれあい広場事業の代替事業として実施したふれあいお届け隊事業については、コロナ禍における事業としても適しており、継続してまいります。

その他事業全般について募金額が年々減少していることから配分金も前年度比で減額となっておりますが、各事業の支出内容を見直すことで前年度までの事業量を確保しつつ内容の充実を図りながら継続してまいります。

4 ボランティアセンター事業サービス区分

ふれあい昼食交流会、ふれあいパークゴルフ大会、生き生き元気・健康講座、食の自立支援事業における配食サービス及びサロン事業など、ボランティアの方々の支えによって実施できている事業が数多くあります。保険料や活動費など引き続き必要な経費を計上いたします。

5 権利擁護事業サービス区分

コロナ禍での社会情勢の変化による生活困窮者自立相談支援業務の増加や障害者支援施設入所者の高齢化に伴う親亡き後の相談等、成年後見制度の利用につながる事例の増加に加え、身寄りのない高齢者による成年後見依頼の増加によってりくべつ生活安心センター「さきエール」の業務増大が見込まれることから、臨時職員賃金を予算計上いたします。

6 資金貸付事業サービス区分

前年度において生活困窮に伴う資金貸付を行っており、引き続き必要な経費を計上いたします。

7 訪問介護事業サービス区分

在宅介護が増えることで訪問介護サービスのニーズの高まりとともにサービス内容も多様となっていて、全体としての業務量が増大しております。これからも円滑な業務運営を行うために、ヘルパー資格者の臨時的雇用を積極的に取り組むとともに地域包括、居宅介護支援事業所との密な連携に努め、資質の向上を目指し利用者が、安心して住み慣れた我が家でより快適な生活を続けていただけるようお手伝いをすることを目標として運営します。

8 訪問入浴介護事業サービス区分

現在の登録者は少ないながらも、清潔水準を保った生活の維持には欠かすことのできない入浴介護は今後も需要が見込まれます。

寝たきりになっても、我が家でゆったりと入浴をしていただくことで、心身ともに快適に過ごしながら少しでも長く在宅生活を続けていただくために事業の継続をしていきます。

地域包括、居宅介護支援事業所との密な連携に努めて資質の向上を目指した運営をします。また、訪問入浴は看護師を含む3名のチームで行うことから、有資格者の臨時的雇用を積極的に取り組むことで、運営の安定を図ります。